

文部科学省指定 平成15・16年度

国語力向上モデル事業



「意欲的に自己を表現する生徒の育成」

— 学び合い・支え合い・伝え合う生徒をめざして —

大曲市立大曲中学校



平成16年11月19日(金)

■ 前年度の取り組み ■

国語科を中心とした取り組み

前年度の方針…表現力を育成するための読む能力の育成

理解と表現の一體化

「話す」・「書く」ために「読む」学習の充実

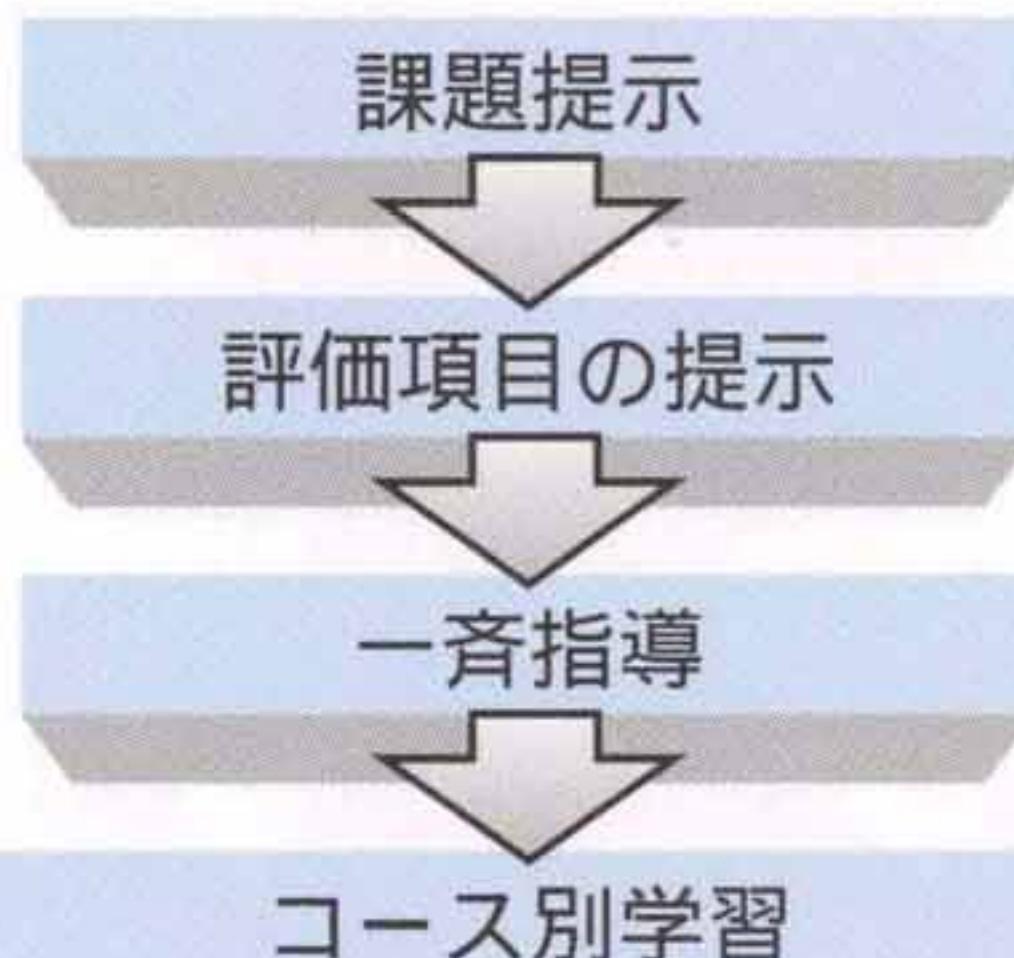
自分の考えを自分のことばで伝える能力の育成

「生徒が自ら気づき、考え、発表し、理解し合う」授業の工夫

↑
前年度の重点

研究実践 指導過程の工夫

個に応じた課題・目標設定が可能な
プリントなどの工夫
【気づき・考える段階】



学習の道筋と評価規準を
表したプリントの作成
(Study Navi)

さまざまな「読み」の視点の提示
(構成・表現・視点・人物・接続詞・
文末表現など)【気づく段階】

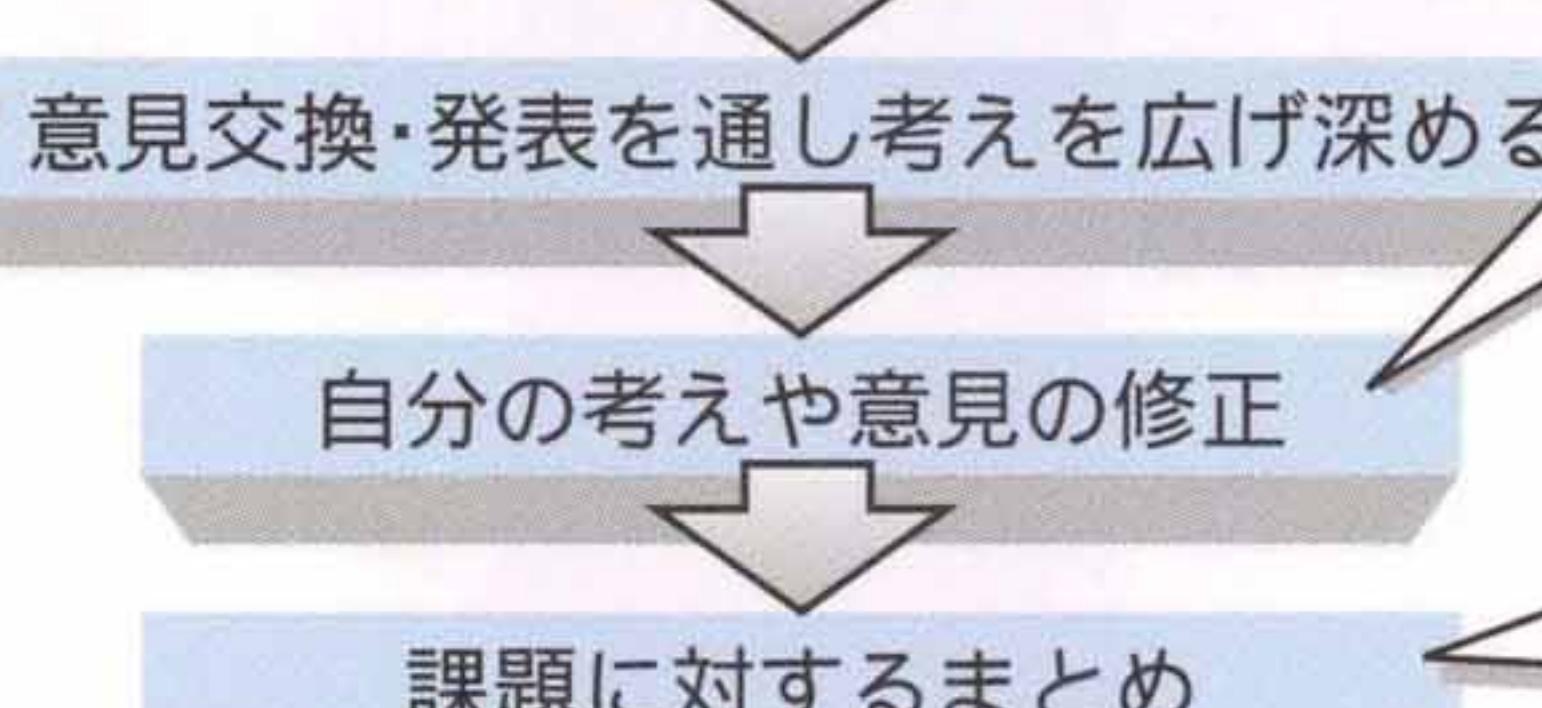
[コース1]
相互学習を取り入れながら
自己解決させる

[コース2]
ヒントを与えながら
学習させる

[コース3]
細かな手順を与えながら
学習させる

話し合いや発表の形態の
工夫・話し合いの位置付けの明確化・話し合いの
方法の指導
【発表・理解し合う段階】

※「話し合いの位置付け」とは、情報交換、共通理解、
新たな価値の創造など何を目的に話し合うのか
ということである。



学習後の変容がわかるような
プリントの工夫

自分の伝えたいことを自分
のことばで伝えさせる工夫
【表現する段階】

成果

- ①自己課題を設定し学習を進めることができる生徒が増えてきた。
- ②文章構成を意識した発表や報告文を書くことができるようになってきた。
- ③学習の見通しと達成すべき目標をもちながら学習を進める生徒が増えてきた。

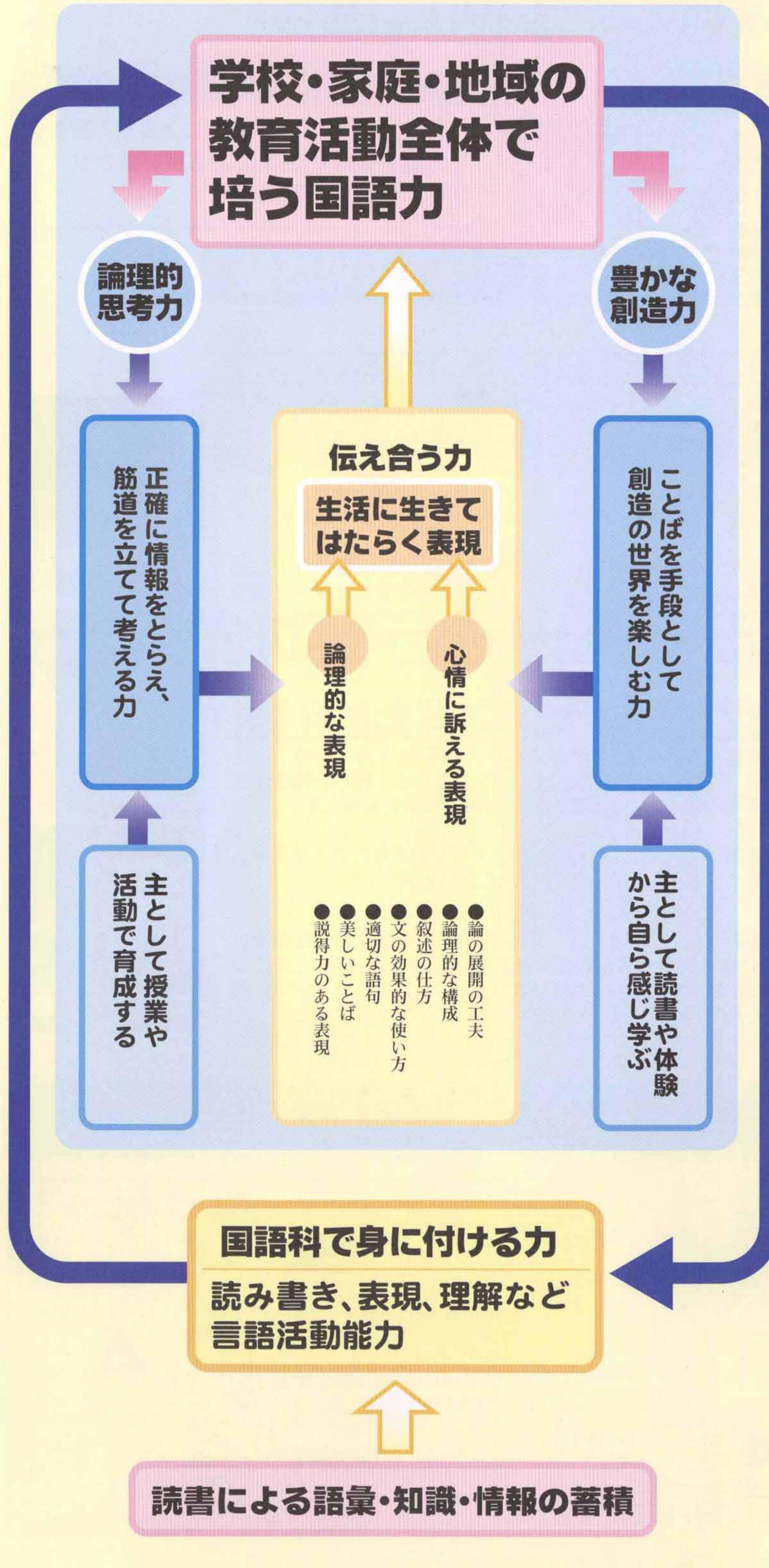
課題

- ①大曲中学校における「国語力」の定義を明確にする。
- ②全ての教育活動と関連付けた表現力の育成の在り方を実践する。
- ③司書教諭と連携をとりながら図書館の活用と意図的な読書活動を図る。
- ④各学年で育てる表現力を検討し、系統付ける。
- ⑤心ひかれことばや表現に多く触れさせる。

本年度の方針

学校・家庭・地域の教育活動全体で培う国語力

■大曲中における国語力 ■



■研究構想 ■



■ 研究の具体的な実践 ■

■ 論理的思考力を育む実践 ■

実践① 研究主題に基づいた教科領域の主題設定

意欲的に自己を表現する生徒の育成

国語

生き生きとした言語活動の中で豊かな表現力を育てる指導法の工夫

社会

社会的事象に主体的にかかわり、自らの考えを互いに広め、深め合うことによって豊かに表現する意欲や力を育む指導の工夫

数学

自分の考えを論理的に表現し、共に学び合える生徒の育成

理科

自然現象に主体的にかかわり、問題解決を高める学習過程の研究
—積極的に学び、伝え合う理科学習の工夫—

英語

英語を用いてコミュニケーションすることを通して、意欲的に英語で表現しようとする生徒の育成

保健体育

生涯スポーツを目指し、一人ひとりが運動の楽しさや喜びを体得し、生き生きと表現できる学習過程の研究

美術

思いがふくらみ、主体的に豊かな表現活動を導く相互評価指導の研究

音楽

豊かな感性を育み、表現活動への意欲を高める指導法の研究

技術家庭

生活の場で思いや願いを積極的に表現しようとする生徒の育成

道徳

ここちからをはぐくむ道徳の時間の創造
—自ら心を開き、ともに考え、高め合う生徒の育成—

特別活動

主体的な集団活動を通して、生き生きと自己を表現しようとする生徒の育成

総合

自己の学びを体系化し表現できる生徒の育成

実践② 段階をとらえた表現力の育成

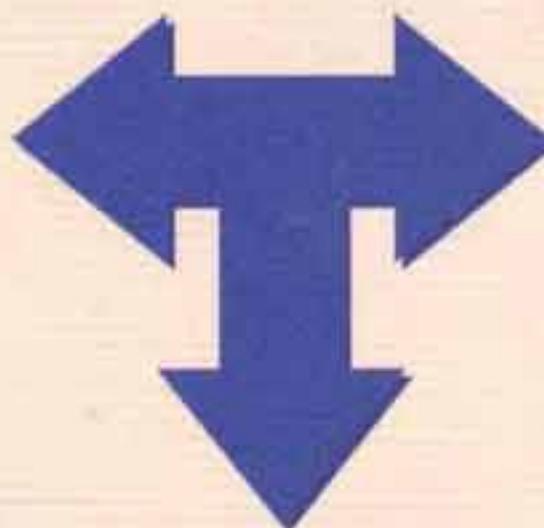
	表現力育成と関連した目指す生徒の姿	具体的な施策
1年	<ul style="list-style-type: none">●他者の話を聞き、自分の考えを表現する生徒 <p>話し合い手順の基本形を学年で作成</p>	<ul style="list-style-type: none">●集会活動において、話しかけ方や聞く態度を身に付けさせる。●学級会の進め方、話し合いの仕方など基本的な方法を指導し身に付けさせる。 (話し合いの手順を明示し、それに沿った話し合いを展開させる。)
2年	<ul style="list-style-type: none">●主体的な活動の中で学んだ表現技法を使って自己の考え方や意見を生き生きと表現する生徒	<ul style="list-style-type: none">●相手にわかりやすく明確な表現をしようとする意識をもたせながら、発表の場に参加させる。
3年	<ul style="list-style-type: none">●習得した表現技法に工夫や改善を加えながら、自分の考え方や意見をしっかり相手に伝えることができる生徒	<ul style="list-style-type: none">●相手に伝えるという意識をもたせ、明瞭な言葉で表現させる。●諸問題を話し合う組織作りを活性化させる。

■ 豊かな創造力を育む実践 ■

実践1 学校図書館との連携

朝読書の通年実施

- ①20分間の朝読書
- ②読書カード・表現カードへの記入
- ③司書教諭による意図的・系統的な実施



読み聞かせや読書集会の設定

- ①プロ、ボランティア、教師による読み聞かせ
- ②図書委員など生徒による読み聞かせ
- ③学年に応じた読書集会

豊かな読書体験を伝え合う表現活動

実践2 生徒・教師・保護者が共に表現力を学ぶ機会の設定

「落語家に学ぶ日本語の表現」

■ 人に伝えるには、一つ一つの言葉を想像したり思い描いたりすることが大切だということを知りました。思いを込めて伝えるとみんなが受け止めやすくなったり気がします。

生徒 ■ 日本語というものは心を込めて読むというだけで聞き手の心に強い印象を残すことができるものだと思いました。落語に関してもテレビで見ている時とはまた違った感じがしてその場の雰囲気が感じられました。中身もただ面白いだけではなく感動もあり、言葉だけでここまでいろいろなものが伝わってくるものなんだなあと強く思いました。

保護者 ■ 同じことを話すのに頭に物事を思い浮かべて想像してみると感情がこもりよく相手に伝わるということを実感しました。最後の落語も「日本語の表現」という意味をよく考えさせられました。どんな乱暴な言葉でも相手に伝わればそれでよいのか、また一つのことを表わすのにいろいろな言葉がある日本語の難しさ。また、それだからこそ楽しい落語ができるなど改めて知ることができました。笑いどうしの一時間半、楽しかったです。

■ 師匠のお話を聞いて今の子供達の表現力の貧しさに、改めて気づかされたような気がします。様々な体験を通して多くの引き出しを持ってほしいと思います。

教師 ■ 学校で学ぶことのできる表現力は、どちらかというと論理的に話を伝えることが多いと思います。しかし多くの場合対話の中で自分の思いを言葉を使って伝えます。そこで大切なのは話す内容もさることながら、テンポや間の取り方、しぐさなどのトータル的なことです。そのようなことを肌で感じることができたことが大きな収穫でした。



■ 日常生活の実践例 ■

1/水	良い気分♪ 今日は...何よりだね!!
2/木	もし原いがわなら 空を開けてみたいのです。鳥も時々飛んでいます。 あとは...欲しい物があれば、お金も浴びいであります。 CD、小説とか...ゲームも谷いいかも...? (11月23日)
3/金	新しい席の感想 今日は 寂寂の一番前の席だったけど、今は まくいかない前の前から三番目になった。前と
4/木	

1/月	分かりません。
2/火	いいいいのか! 今から先 挿歌を歌ふことになりました。 挿歌は難しいので貢ふことに 苦労しました。これからは元気張りたいと思 ました。 たへんたへん くわきよこ 貢ふらねます
3/水	学級目標完成! 前日決まり、学級目標が完成しました。 1つ1つでよく上手に出来ているのでうれしい

